

名友会かわらばん

Vol.2 春号 2009年7月1日発行
発行 村本建設(株)名古屋支店
名友会事務局

【施工中の現場紹介】三本松雨水幹線下水道築造工事



発注者：名古屋市上下水道局
所長：森本 尚登
場所：名古屋市三本松町
工期：H20.1.17～H22.3.17
工事概要：シールド工法
仕上り内径 2400mm
長さ L=672.6m
進捗率：78%(5月14日)
ひとつ：完成後は集中豪雨時の一時貯留施設として活用され、付近一帯の浸水被害を防ぎます。

斐ご挨拶

設立總會にて、電車方式で会の運営をして参りたいと申しあげました。その点、現



名友会
会長 中野 泰至

在の役員の方々は積極的に提案してくださり、実行もして頂いており感謝に堪えません。

一方、我々中小企業は、TOP(TOP数人)の考え次第、つまり会社の運営は機関車方式で進めざるを得ないことが多いと思います。

したがって、景気が悪いからといって会の運営を縮小するのではなく、人材育成にお役に立てる会として改めて決意しておりますので、村本建設様はじめ安全協力会の皆様方の更なるご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

奇しくも百年に一度の苦しみを、お互いに共有できる場がございます。本音で、ときには親に文句を言った青年時代のように、元請けさんの愚痴を言いながらも、元請けさんの言葉はお客様からの声、ひいては社会からの要請とお互い噛みしめて参りましょう。

夜明けのない夜はない、必ず朝日輝く夜明けがございます。夜明け前が、一番寒い。それをお互いの頂上で共有し、そして、その後の太陽の温かさを共に感じましょう。

私の、当面の目標は、上手に断る処世術を身につけることです。(笑) 最後に、力量不足ではございますが、名友会の発展のため精神誠意頑張ることをお誓いすると共に、会員皆様方の積極的な御参加をお願い申しあげ、ご挨拶とさせていただきます。合掌

[1]新支店長ご挨拶

村本建設株式会社名古屋支店
常務執行役員支店長
倉田 淳 様



会員の皆様には、平素より村本建設の事業活動にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび6月1日付けを持ちまして名古屋支店長を拝命しました倉田でございます。皆様方には、前役職であります安全環境統括部長として、何度かお会いする機会がございましたので、顔見知りの方が多くいますが、改めましてよろしく願いいたします。

前任支店長の竹内同様、この伝統のある名古屋支店を盛り立てるよう誠心誠意努力する所存でございますので、皆様の変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

新生村本としてスタートを切ってから、早いもので丸5年が経過し、この間様々な荒波を乗り越えることが出来たのも、これもひとえに協力業者の皆様方の力があってこそと感謝いたしております。自分だけの力は知れています。皆様との信頼関係が大きな軸となって、より大きな力を発揮できていることは明らかです。今後とも、この名友会を基盤として更なる研鑽をはかり、お互いに向上していけたら幸いです。よろしくご協力お願いいたします。

世の中は、百年に一度と言われる不況の真っ只中にあり、ましてや名古屋地域は最たるものと言えるかもしれません。しかし、我々は嘆いてばかりはられません。今だからこそ、自分たちの出来ること、しなければいけないことを前向きにとらえ、考えつくことを工夫してひねり出す時かもしれません。真剣に考えれば何か知恵がでます。

また、事故災害についてもニュースに載るような大きな事件が多発しています。なぜなのでしょう？ 私が思うに、今世の中には、信頼関係がなくなっているのではないかと感じます。施主と施工業者、元請と下請け、施工業者と一般通行人及び世間との間に、長年に亘り築かれてきた様々な信頼関係が崩れ、信頼がないために、愚痴がでて注意力が散漫になり、それが事故に繋がっているのではないのでしょうか。これからはどんなに時間がかかっても、再度信頼を取り戻すために、お互いに切磋琢磨し、更なる高みに上がることで、品質の良い製品を安全につくり、それを施主に引き渡すというあたりまえのことをすることにより施主との信頼関係、ひいてはその建設物にかかわる様々な方々との信頼関係を回復させ、それを利用する使用者を含めより良い相乗効果が出てくることを確信しています。

そのために、まず私共と身近にいる皆様方との強い絆が不可欠であり、名友会及び安全協力会を基盤にして一致協力すれば、道はおのずと開かれてくるはずで。

最後になりましたが、名友会が益々発展し、会員各位が幸せになれますようお祈りいたします。

竹内前支店長様は、常務執行役員 安全環境品質統括部長として
本社に御栄転されました。3年間大変お世話になりました。
有難うございました。今後は、原稿の御依頼と勉強会の講師としての
御来名を楽しみにしております。

[2]名友会 活動報告

第1回総会・第3回勉強会・懇親会 H21.4.17(金)メルパルク

第1回総会 出席65社+村本建設様社員3名+来賓1名

H20年度の事業・決算報告通り、御承認頂きました

H21年度の事業計画・事業予算原案通り、御承認頂きました。

第3回勉強会 64社+村本建設様社員15名+来賓1名

「リスクアセスメントの必要性について」講師 東京支店 安全部長 梶谷 宣仁様

図・絵を画面に映し、リスクアセスメントの5つのステップをはじめ、懇切丁寧に御講演頂きました。

その後、ビデオ“協力会社の事業者関任「安全評価が受注を左右する」”を上映しました。

懇親会 53社+村本建設様社員31名+来賓1名

新役員紹介・新入社員紹介など含め、和やかに楽しいひと時でした。

第1回名友会 特別現場安全パトロール H21.5.14(木)

最終ページに報告させていただいております。

< 今後の予定 >

H21.9 第2回特別安全パトロール

H21.11 第4回勉強会

H21.12 第3号かわらばん発行

H21.3 第4号かわらばん発行

H21.8~H22.3 定例執行部会 6回開催(役員のみ)

[3]役員のパージ

名友会が発足してから、もうすぐ1年がたちます。

1年の間に勉強会3回・かわらばん発行1回・名友会安全パトロール1回と活発な活動が行われています。

橋本建設(株) 水谷 昇
趣味;ドライブ

5月14日には第1回名友会安全パトロールが開催されました。土木関係会社は建築現場へ、建築関係会社は土木現場へというように、パトロールの視線を変えることで、良い面、悪い面が今まで以上に出てくると思います。

6月1日からは、足場に関わる労働安全衛生規則が改正となりました。現状では、見解に温度差があり手探りの状況にあると思います。各現場より情報を収集し、対応していかなければなりません。

社会情勢は現在非常に厳しい状況であり、災害発生となれば会社の存続も危ぶまれます。安全において、これで十分というものはないと思います。しかし、安全設備が完全であっても作業員の安全意識が低ければ災害の発生する可能性は高くなります。自分の身は自分で守るを合言葉に、個々の安全意識を教育により向上させなければなりません。

死亡災害の発生は、入場初日より7日目までの間に42.5%と高い比率を占めています。現場の危険な場所、他業者の施工状況が把握できていない状態での災害であると思います。したがって、新規入場者養育及び送り出し教育を完全実施し、災害の未然防止に努めなければなりません。

また、7月・8月においては熱中症による災害が多発する時期となりますので、各会社にて対策方法、救急措置方法の教育を実施して頂きたいと思います。村本建設(株)様の下、協力会社が一致団結し、活発な情報交換・意見交換を行い、災害の未然防止・品質の向上・コスト削減を目指し、この不況を乗り切っていきましょう。ご安全に。

建築現場紹介

飛島村立小中一貫教育校 飛島学園 (飛島小学校・飛島中学校)

飛島学園は村の将来を担う子どもたちが、9年間で見通した系統的・計画的な教育によって、心身ともに健康的に発達することを旨とし、構造改革特別区域の認定を受け、未だ全国でも事例の少ない小中一貫教育校として誕生します。

現在、村には小学校1校、中学校1校があり、2校を移転統合し、飛島村立小中一貫教育校 飛島学園（飛島小学校・飛島中学校）となります。

ほとんどの村民の母校であり、村民の多大な期待を受ける飛島小・中学校の新校舎の設計にあたり、様々な立場の方の意見を広く採り入れるために、教育委員、区長、PTA代表、保育審・保育所母体代表、学校代表、議会代表、学園組織者、行政、設計事務所をメンバーとするワークショップを行い設計を進めてきました。また、小・中学校の教職員とのワークショップも並行して行なってきました。

新入社員紹介その2



職種 現場担当
会社名 村本建設㈱
出身 静岡県浜松市
趣味 テニス

氏名 川合 裕毅(かわい ゆうぎ)

コメント

今年入社のため、初めての現場になります。この小中一貫校が良いものになるように、日々一生懸命頑張りたいと思います。

新入社員紹介その1



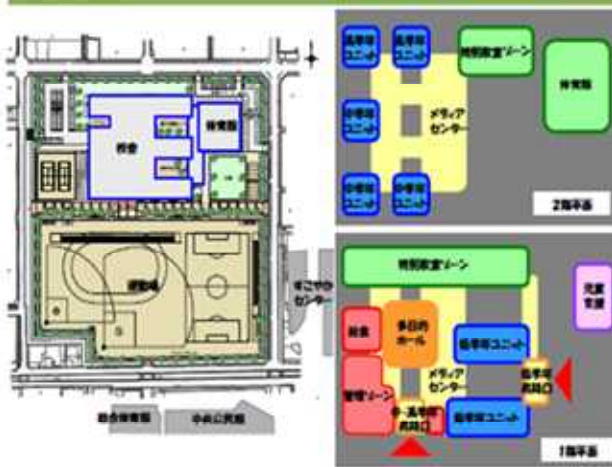
職種 現場担当
会社名 村本建設㈱
出身 三重県伊賀市
趣味 サッカー
(フットサル)

氏名 川上 和輝(かわかみ かずき)

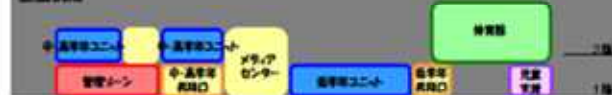
コメント

入社1年目で希望と不安でいっぱいですが、毎日を大切に頑張っていきたいです。工事了後は飛島村小中一貫校に入校する生徒たちとサッカーがしたいと思っています。

施設の基本構成



断面構成



6月に小学生を対象に開催された現場見学会です。



飛島学園の経営方針

校訓

確かな未来を拓く

教育目標

児童・生徒のすぐれた個性を伸ばし、「知・徳・体」の調和のとれた人間形成を図る

一人一人が確かな学力を身につけ、生涯にわたって自ら学び続けようとする態度を養う

ふるさとを愛する心を育み、社会の発展に尽くす態度を養う

経営方針

9年間で見通した「4・3・2年」の区分による系統的・計画的な教育活動の実施

5つの主な柱

確かな学力の育成
中等年から教科科目制の実施

豊かな心の醸成
交流活動の充実、充実

かわかむる力の育成
コミュニケーション能力の育成

ふるさとを愛する心
地域社会と教育・生活力学習の充実

確かな学びづくり
遊びを通じた体力づくり、進歩学習の充実

設計の基本方針

一般的に中1ギャップと言われる小学校と中学校との段差をなくし、9年間で統一した教育目標のもとで育てることが小中一貫教育校の強みのひとつです。一方、1学年1クラスの学年も少なくない飛島学園では、9年間の変化が特に少なく、9年間での中での節目づくりが大切な課題です。

飛島学園では、初等部（1～4年）・中等部（5～7年）・高等部（8・9年）の4・3・2年の区分とし、成長段階に節目をつくりながら系統的な教育を計画的に実施することを方針としています。

施設構成の基本方針

4・3・2年の区分に対応したゾーニング

施設計画の柱

様々な学習形態に対応できる普通教室・ワークスペースが一体になった学習ユニット

日常の学び・遊びを通して異学年の交流を育むメディアセンター・多目的ホール・中庭

教育特区を生かした特色ある教育を実施する豊潤な図書教室

積極的な地域参加が可能な特別教室

健康を支える体育施設

建築概要

- 建設地：愛知県尾張郡飛島村大字松之郷地内
- 地域・地区：市街化調整区域、防火指定無し、豪雨地域に係る地震防災対策強化地域
- 敷地面積：約42,800㎡
- 建坪面積：校舎・体育館 8,100㎡、体育倉庫 200㎡、耐震通 400㎡
- 延床面積：校舎・体育館 11,600㎡、地域倉庫 200㎡、児童交流施設 400㎡、ピロティ 600㎡、体育倉庫 200㎡、耐震通 400㎡
- 構造・規模：鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造
- 主要設備：普通教室18室、ワークスペース、特別交流教室3室、音楽室2室、理科室2室、家庭科室（調理室含む）、アトリエ（図工・美術・技術室）、メディアセンター（図書室含む）、コンピュータ室、多目的ホール（ランヂルーム兼用）、給食室、体育館・耐震通、職員室、校長室2室、保健室2室、倉庫室、児童交流施設 他

土木現場紹介

概要

現場名	函南高架橋下部工工事（第3工区）
発注者	静岡県沼津土木事務所
場所	静岡県田方郡函南町大土肥地内
工期	自 平成20年8月29日 至 平成21年9月30日
所長	金樹 勝志
主任	小林 敏弘
現場員	松井 康 梶山 裕弘
数量	橋脚工 3基 鋼5径間連続箱桁橋の2径間 P24~P25 85m P25~P26 80m P24 フーチング 高さ4.0m×幅11.0m×幅12.0m 鋼管杭 長さ36.0m(1200)×11本 コンクリート532m ³ 鉄筋135t P25 フーチング 高さ4.0m×幅9.0m×幅12.0m 鋼管杭 長さ40.0m(1200)×11本 コンクリート432m ³ 鉄筋64t P26 フーチング 高さ4.0m×幅11.0m×幅12.0m 鋼管杭 長さ44.5m(1200)×11本 コンクリート532m ³ 鉄筋105t

伊豆縦貫自動車道について

伊豆縦貫自動車道は、静岡県沼津市を起点とし下田市に至る延長約60kmの一般国道の自動車専用道路で、全国的な高速交通体系である高規格幹線道路網14,000kmに位置づけられた路線です。本自動車道は、国土の主軸上に位置する沼津市や三島市を伊豆地域と東名及び新東名高速道路と連結することにより高速交通体系から取り残された伊豆地方へ高速サービスを提供し、海・山などの自然環境や温泉などの観光資源に恵まれた伊豆地域の発展に大きな役割を果たすとともに、伊豆地域の交通混雑緩和を図り、快適な観光の実現や安心して生活できる環境の実現などが期待されます。

完成予想図



現況

6月の工事予定
回転圧入鋼管杭 P24 L=36.000 11本
P26 地盤改良
鋼矢板圧入工 P26 L=9.500 160枚
6月に現場見学会が2回開催され、地元住民の方々の関心が高い事業となっています。
基礎杭の施工はNSエコパイル工法という、無排土・低騒音・低振動の回転圧入式鋼管杭を採用しています。
従来型の工法に比べて残土処分や杭頭処理を必要としないので、環境にやさしく、工期短縮にもつながります。また、クレーン転倒事故防止対策として、地盤改良・鉄板(t=30)の敷設を行い、クレーンには、最大吊荷重の80%を超えた場合にブザーが鳴り、吊荷操作が出来なくなる装置を設置しました。

鋼管杭圧入状況



パソコンにてトルク値を管理しています。



修善寺工業高校現場見学会（平成21年6月12日）



レベル・光波の使用方を教える新入社員の梶山君（左）と松井君（右）

[6] 名友会特別現場安全パトロール報告

1班 班員4名 ロイヤルクレスト東刈谷新築工事

担当 蜂須賀所長 規模 RC11階

報告者 リーダー (株)前田商店 成田 正浩



今回は名友会として、協力業者だけのパトロールとなりました。雰囲気的には、普段のパトロールとは若干違い、いつもより気軽に話しを聞けるところもあったと思います。ただ、不勉強なところもあり、どこまで安全に対して、目配り出来るかが、今後の課題のように感じました。現場は綺麗で良かったと思います。

第2班 班員4名 ロイヤルクレスト矢田駅前新築工事

担当 早田所長 規模 RC7階

報告者 リーダー (株)タムロ 山口 則男



当日は3階のコンクリ打ちの時に、駅前で人通りの多い中、ガードマンの第3者災害対策も良好で狭い敷地にもかかわらず、整理整頓がされ働きやすい現場環境になっていました。安全書類でリスクアセスメントを取り入れていない作業手順書がありましたので指摘させて頂きました。はじめてのパトロールで、工事担当者・作業員の方々にご迷惑をお掛けしました。有難うございました。

第3班 班員5名 三本松雨水幹線下水道築造工事

担当 森本所長 規模

報告者 リーダー (株)西尾組 西尾 建一郎



土木現場の三本松を見てきました。地下のシールド工事ですが、最先端部まで行く事ができました。初めてのP.T(パトロール)でしたので、現場見学会的になった事を反省し、次回以降より充実したP.Tを行いたいと思います。

尚、現場は安全・品質共に非常にしっかりした管理をされていた事も報告します。ご安全に。

安全パトロール総括 担当 名東産業(株) 小林 直也

今回、名友会第1回目パトロールとしまして3班に分けて行いました。私は1班のロイヤルクレスト東刈谷のパトロールを行いました。作業場内も大変きれいに整頓されていて、各職方さんも皆さんも元気が良く、安全にもしっかり気をつけている様に思いました。パトロールは年2回の開催予定ですが、皆様が安全に現場作業出来ます様に、これからも名友会役員全員が気を配って頑張りたいと思いますので宜しく御願い致します。